

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和2年 7月 29日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪市北区中之島3丁目6番16号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 関西電力株式会社 代表執行役社長 森本 孝

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	「独自のシステム」
適 用 範 囲	全社
導 入 年 月 日	平成10年 4月 27日
認 証 番 号	-
基 本 方 針	関西電力グループでは、「関西電力グループCSR行動憲章」に基づき、環境との関わりが深いエネルギー事業者として、社会から信頼される企業グループであるために、「低炭素社会の実現に向けた挑戦、循環型社会の実現に向けた活動の展開、地域環境保全対策の推進」に取り組むとともに、環境管理および環境コミュニケーションの推進に努めます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	地球温暖化対策に大きく影響する「低炭素社会の実現に向けた挑戦」については、以下の目標を策定し、さまざまな取り組みを実践しています。 ○安全を最優先とした原子力発電所の運転 ○火力発電所の熱効率の維持・向上と天然ガスのさらなる利用 ○再生可能エネルギーの開発・普及 ○お客さまと社会の省エネ・省コスト・省CO ₂ への貢献
目標を達成するための取組の内容	○安全を最優先とした原子力発電所の運転 運転を再開したプラントの安全・安定運転の継続と、安全性が確認されたプラントの速やかな再稼働に向けて、安全対策を自主的かつ継続的に推進していきます。 ○火力発電所の熱効率の維持・向上と天然ガスのさらなる利用 熱効率の維持・向上を図ることによって、化石燃料の使用量を削減し、CO ₂ 排出量の抑制に努めています。 ○再生可能エネルギーの開発・普及 関西電力グループ一体となって、2030年代に国内外で再生可能エネルギー電源の設備容量600万kWを目標に、200万kW以上の新規開発に向けてと組んでいます。 ○お客さまと社会の省エネ・省コスト・省CO ₂ への貢献 ヒートポンプ技術を活用した高効率システムとその運用方法などの提案に加え、エネルギーを見える化するサービスの提供など、お役に立てる取り組みを推進しています。
目標を達成するための取組の進捗状況	○安全を最優先とした原子力発電所の運転 新規基準による安全性が確認された原子力発電所の安全・安定運転を継続中。また、後続プラントについては、再稼働に向けて、引き続き安全最優先で取り組みました。 ○火力発電所の熱効率の維持・向上と天然ガスのさらなる利用 熱効率の維持・向上を図ることによって、化石燃料の使用量を削減し、CO ₂ 排出量の抑制に努めました。 (参考) 火力総合熱効率 48.6% (低位発熱量基準) (2019年度実績) ○再生可能エネルギーの開発・普及 関西電力グループ一体となって、再生可能エネルギーの電源開発に取り組みました。 (参考) 累計設備容量合計 約443万kW (2019年度末時点) ○お客さまと社会の省エネ・省コスト・省CO ₂ への貢献 お客さま・社会のエネルギー利用高度化に資する機器、サービスの普及拡大に取り組みました。 (参考) スマートメーター導入 約94万台 (累計約1,153万台) (2019年度末時点)
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	持続可能な社会の構築に向け、火力発電所の熱効率維持・向上や再生可能エネルギーの開発など、環境行動方針に沿った取り組みを進めることができました。
事業活動に係る法令の遵守の状況	昨年度、関連法規に関する不遵守がありましたため、再発防止対策を実施しています。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境問題への先進的な取り組みを部門横断するため、「サステナビリティ・CSR推進会議」の下部組織として「サステナビリティ・CSR推進部会」を設置しています。「サステナビリティ・CSR推進部会」を開催し、行動計画「エコ・アクション」の策定やチェック・アンド・レビューを実施しました。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。